



西大和学園カリフォルニア校附属幼稚園のハイブリッド登園について

1. ハイブリッド保育について

(1) 方針

- 1 園児が月曜日から金曜日まで、密集しない対策を講じながら半日通園と半日DLを行うものとする。
- 2 ハイブリッド保育の開始日については、7月23日（木）終業式頃に家庭に連絡する。
- 3 自宅でのDL保育は、通園とDLの兼ね合いから、1学期とは異なる内容となる。
- 4 各クラスの在籍人数と年齢を考慮して、複数教室を使用したり、午前登園と、午後登園のグループ分けを行うこととする。
 - *年少組は、ちょうちょ組教室と、ひよこ組教室に分かれての保育を検討中。
 - *年長・年中組は、人数次第でクラスを午前グループ、午後グループに分けての保育を検討中。
- 5 登園を希望しないご家庭は引き続きDL保育を自宅で受けることとする。（その場合も、DL内容に変更が生じることをご了承下さい。）
- 6 登園前の自宅での体調視診は必須とする。幼稚園でも朝の検温は行う。体温が37度以下（36度の後半であっても要注意）で健康状態が良好だと確認できてから登園する。
- 7 発熱以外でも便覧で定めている症状（P10）が診られた場合、自宅で療養させること。
- 8 園児や保護者は学園内では、必ずマスク着用のこととする。その際記名を忘れずに。
- 9 感染リスクを抑えるため、幼稚園でお弁当やお昼寝は行わない。
- 10 園児数の変化に伴い、ハイブリッド保育内容はその都度、見直され改訂されることとする。
- 11 地域の感染状況と官公庁の指示に従い、段階的に通常保育に戻していく。
- 12 ハイブリッド保育が始まり感染を疑う園児が出た場合は学級閉鎖、臨時休園、DL保育に戻すこととする。
- 13 トイレや手洗いは、小学部・中学部と重ならない時間に設定する。また幼稚園内でも時間差をつけ、6フィート間隔をあげ、人数を制限しながら行う。活動と活動の合間には必ず手洗いを入れる。
- 14 飛沫感染のリスクが高い活動（集まって歌指導・触れ合いがある体育活動）などは行わない。ただし、屋外で十分に距離をとって歌を歌うなど、工夫をして行う場合もある。
- 15 おやつは各自家から持参してきたものを食べる。おやつや水筒、コップは距離を保って保管しておく。歯磨き指導、手拭きタオルは一旦中止し、ペーパータオルで拭くよう指導する。
- 16 十分な換気を行うため、幼稚園で準備する扇風機と併せて、ご家庭からの扇風機を借りて換気に努める
- 17 サインイン・アウトはデバイスの共有を避ける方法で行うこととする。
- 18 水分補給のため、水筒には十分に水を入れ、予備のペットボトル（1本）もカバンに入れておく。また、衛生上、ペットボトルは園内に保管せず、毎日持ち帰る。
- 19 サニタイザーは各クラス入り口に設置し、入室時に利用する。
- 20 下駄箱エリアの密を避けるため、上履きは当面使用しない。戸外から戻る際は、除菌の足ふきマットを用意し、そこで靴裏を拭いてから入室する。

